

彦習塾

歴史手習塾
HISTORY SEMINAR

Seminar28

彦根周辺の山城を往く！
↳ 立地と地形から
その役割を読み解く

第三弾

東
西
南
北
砦を築け、

佐和山城

を包囲せよ！

むしやま
北の砦「物生山城址」
をフィールドワーク！

西の砦

東の砦

南の砦

佐和山の東西南北に砦を築け！

砦と砦の間には鹿垣を設け、一人たりとも城から出さな！

一人たりとも城へは入るな！

そうして、8ヶ月という長期にわたる信長の佐和山城攻めが始まる

背景古地図 出典：国土地理院ウェブサイト「古地図コレクション」近江 琵琶湖

2021.3.28 日曜日 9:30 開場 10:00 開講

会場 清凉寺 座禅堂 [彦根市古沢町1100番地 ☎0749-22-2776]

第1部 講座 10:00~11:30 講座のみ 一般 1,000円 ※全席自由 (講座のみの受講はできません)

第2部 フィールドワーク 13:00~16:00 講座 + フィールドワーク 一般 2,500円

※ 事前申し込みが必要です。フィールドワークのみの参加はできません。詳しくは裏面をご確認ください。



西暦1570年から1573年までの4年間、近江は織田信長の侵攻を受け、戦乱の舞台と化す。この4年間の戦いを総称して『元亀の争乱』とも呼ぶが、『佐和山城攻め』もその中のひとつと言える。

横山城を落とし、姉川の戦いに勝利した信長は、浅井の支城である佐和山城攻めを始める。

『佐和山の城、磯野丹波守楯籠り、相拘え候へき。直ちに信長公、七月朔日、佐和山へ御馬を寄せられ、取り詰め、鹿垣結はせられ、東百々屋敷御取出仰せつけられ、丹羽五郎左衛門置かれ、北の山に市橋九郎衛門、南の山に水野下野、西彦根山に河尻与兵衛、四方より取り詰めさせ、諸口の通路をとめ、同七月六日、御馬廻りばかり召し列られ、御上落。』(『信長公記 卷三』より)

後に信長が城攻め的手段として多用するようになる『三里四方に砦を築き』という戦法は、この時の佐和山城攻めに端を発する。

- 東の砦(百々屋敷／丸山城)
- 西の砦(彦根山)
- 南の砦(里根山)
- 北の砦(物生山／磯山)

この4つの砦から佐和山城はどう見えたのか、つまり、なぜ、ここに信長は砦を築いたのか？そして、なぜ信長は、佐和山城を積極的に攻め落とさなかったのか？唯一佐和山から尾根伝いで行ける北の砦・物(む)生山(しやま)を歩きながら、信長の城攻めの極意を体感します。

物生山(むしやま) フィールドワーク

佐和山登城～山頂より、東西南北の砦を俯瞰します～佐和山城から北の砦(物生山)へ～佐和山と物生山を断ち切る堀切、土橋、頂を外した砦跡の削平地を辿ります～(大洞弁財天奥ノ院へ下山)



講師 | 中井 均氏 滋賀県立大学人間文化学部教授

1955年大阪府生まれ。龍谷大学文学部史学科卒業。(財)滋賀県文化財保護協会、米原市教育委員会、長浜城歴史博物館館長を経て、2011年に滋賀県立大学人間文化学部准教授。2013年度より現職。金沢大学や大阪大学の非常勤講師を務める。また、NPO法人城郭遺産による街づくり協議会理事長として、全国のまちづくりに関わる。専門は日本考古学で、特に中・近世城郭の研究、近世大名墓の研究。

主な著作

共著「歴史家と嘸家の城歩き 一戦国大名武田氏を訪ねて」高志書院 2018 / 監修「図解 近畿の城郭Ⅰ～Ⅳ」戎光祥出版社 2014～2017
編著「古地図で楽しむ近江」風媒社 2017 / 編著「近世城郭の考古学入門」高志書院 2016
著書「城館調査の手引き」山川出版社 2016 / 共著「歴史家の城歩き」高志書院 2016
編著「中世城館の考古学」高志書院 2014 / 著書「カラー徹底図解 日本の城」新星出版 2009
著書「近江の城 一城が語る湖国の戦国史」サンライズ出版 1997

チケットの申し込み・ご購入方法

- ① 申込講座名「歴史手習塾 セミナー28」 ② チケットの種類「講座のみ」もしくは「講座+フィールドワーク」
- ③ 申込者(氏名 / ご住所 / 電話番号) ④ 申込人数 を明記の上、メールまたはFAXにてお申込みください。

お申込み先: tenaraijuku@hcdf.jp または **FAX 0749-27-6880**

1 講座のみ 一般 **1,000円**



講座のみの
当日券もあります

2 講座+フィールドワーク 一般 **2,500円**

限定
20名

フィールドワークは、
体力に自信のある方



※ 20名を越えた場合は抽選になります。申し込み締切: 2月28日 抽選結果: 3月15日までにお知らせします。

※ 講座のみの受講は可能です。 ※ フィールドワーク参加の方は講座も受講していただくことになります。
※ フィールドワーク参加の方は、昼食・お茶をご持参ください。また、山城を歩きますので、ふさわしい服装でご参加をお願いします。